

第42号

高石市

# 青少年健全育成

発行所  
高石市青少年健全育成推進会  
(高石市教育委員会)  
〒592-8585  
高石市加茂4丁目1番1号  
TEL 265-1001

## 未来に羽ばたく高石っ子を応援しよう!

高石市青少年健全育成推進会会長



高石市長

阪口伸六

### 高師浜にスケートボード場が完成!



高師浜総合運動施設スケートボード場

高師浜総合運動施設に待望の市営スケートボード場が完成します! オープン記念イベントにはたくさん子ども達を招きます。さらには今後、3×3バスケットコートも同施設

設内に整備。スケートボード教室などでマナーや技術を指導し、青少年の健全育成に取り組みます。

### 共生社会の実現に向けて松の実園の移転・新築オープン!



松の実園の新園舎

昨年10月、発達に課題のある就学前の子どもに適切な療育を行う「松の実園」を旧北幼稚園跡地に移転・

## 高石っ子憲章

高石市青少年健全育成推進会  
昭和61年7月15日制定

わたしたちは、高石っ子が自ら豊かな社会をつくり出し、たくましく生き抜く人間に成長することを願っています。

そのため、家庭・学校・地域の協力のもと、自由と平和を愛し、正義と秩序を重んじ、たがいに尊重しあう民主的な人間に育つことをめざして、この憲章を制定します。

1. 高石っ子は、ひとりひとりがかけがえない人として、たがいの人権を尊重する人間になりましょう。
1. 高石っ子は、自ら学び、考え、判断し、豊かな創造力とひろい心をもった人間になりましょう。
1. 高石っ子は、自然や人間のいとなみに感動し、生きることへの感謝し思いやりのある人間になりましょう。
1. 高石っ子は、いかなる困難にも立ち向かう意志の強い人間になりましょう。
1. 高石っ子は、家族のふれあいを大切に、家族の一員としてよりよい家庭を築きあげる人間になりましょう。
1. 高石っ子は、あらゆる活動の場を通して、豊かな体験を積み、心身共に健康な人間になりましょう。
1. 高石っ子は、人や郷土・地域を愛し、社会に役立つ人間になりましょう。
1. 高石っ子は、歴史と文化を大切に、国際感覚を身につけた人間になりましょう。

新築しました。母子通園事業パンビグループも同施設内に統合し、市内認定こども園や保育所等とも連携し、多様な子育てを支援します。

### キッズ健幸アンバサダー事業



棒高跳びでリオ五輪に出場した萩田選手が指導



事故で左足を失ってから走り幅跳び等陸上競技を始めたリオ五輪で銀メダリストの山本選手が指導

市内各小学校の授業にオリンピック・パラリンピアンを講師としてお招きし、障がい乗り越え頑張っている姿、スポーツを通じた健康づくりの大切さを学びました。授業を受けた児童たちにはアンバサダー(普及活動を行う人)となつて、家族や友人にスポーツによる健康への効果を伝え、健幸のまちづくりに貢献していただきたいと願っています。

### 高石っ子がスポーツで大活躍!



全国優勝した高南中学校女子ハンドボール部の皆さん



U-20女子サッカーワールド杯で活躍した浜野まいかさん



甲子園で活躍した武田一溪さん

サッカーワールドカップでは日本が強豪国に勝利するなど、喜ばしいニュースがありました。昨年、高石

市においてもスポーツの分野での活躍がめざましく、第31回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会において、高南中学校より男子2名、女子10名が大阪府選抜チームに選出され、女子チームが見事全国優勝を果たしました。また、同校出身の浜野まいかさんはU-20女子サッカーワールド杯で日本の準優勝に貢献し、大会MVPを受賞され、同じく高校野球では武田一溪さんが明秀学園日立の誇る強打者として甲子園に出場し、ホームランを放つ大活躍をされました。

今後も未来に向かって力強く進む高石っ子を心から応援します!

### 平和啓発事業「島守の塔」上映会にぜひご参加を!

高石市平和啓発事業  
命どう宝、生き抜け!

映画 **島守の塔**

上映会のご案内

日時 令和5年3月29日(水)  
①午前10時 ②午後1時30分 ③午後5時30分  
※各回の上映前に「被爆アオギリ」の苗木の贈呈式を行います。

場所 アプラたかいし大ホール

参加費 無料

出演者: 藤原 聖人、村上 淳、古岡 明帆、香川 名子

ウクライナでは今も戦闘が続く、子ども達の心にも影を落とされています。来たる3月29日に命の大切さを考える平和啓発事業「島守の塔」上映会をアプラホールで開催します。被爆地広島でも今も元気に育つ「被爆アオギリ」の市内小中学校への寄贈式も行われます。当日参加も可能ですので、ぜひご来場ください。

詳細は市ホームページまたは人権推進課(275-6279)まで。



市ホームページ

# わたしたちの生活を話し合う会

～わたしたちの学校園生活をより楽しくするために～  
今年度のテーマ「いじめのない学校をつくるために」

毎年、小学校・中学校が連携して開催されています。今年度で38回を迎え、令和4年12月23日(金)に高石市役所多目的ホールで開催されました。  
高石市立の小中学校から児童生徒の代表が集まり、各学校のいじめを許さない取組みについての発表を行いました。

## 高石小学校

「手を出す前に、相手の気持ちを考えよう。ありがとう、ごめん、助け合う。それが大事な一歩」

### 【取組内容】

○あいつつレンジャー  
・朝のあいさつを元気よくする子を増やすことで朝から気持ちよく学校生活を送ることができる。

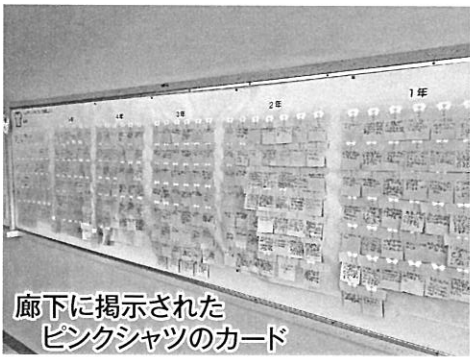
○朝のじゃんけん大会  
・各クラスの代表が全児童の前でじゃんけんをすることで朝から元気に学校生活を送ることができる。

○子どもまつり  
・2～6年生の各クラスで出し物を行い、前半・後半に分かれてそれらを楽しむことで異学年との交流を図る。

○夏休みの過ごし方の劇  
・1学期の終業式で代表委員会の児童が夏休みの過ごし方についての劇を行う。

### ○ピンクシャツデー（いじめ反対運動）

・いじめNO宣言としてピンクのシャツの形をしたカードにメッセージを書き、廊下に掲示する。



廊下に掲示されたピンクシャツのカード

○これらの活動を続けていき、皆が楽しく安心して過ごせ

「いじめ」のない学校をめざす。

## 羽衣小学校

「一人ひとりの想いを輝かせよう！いじめNO宣言」

### 【取組内容】

○あいつつ運動  
・登校時に正門で挨拶を行い、学校を明るくする。

○集会遊び  
・代表委員会で考えた遊びを全校児童で行う。

### ○行事の司会

・児童朝会や秋の校内音楽会で司会をする。羽衣祭りではルール作りやプログラム・スタンブカードを作成した。

### ○グループパトロール

・雨の日など運動場に出ることができない20分休みに廊下を走ったり騒いだりしないように見回る。

### ○生活目標の決定

・各学期の初めに生活目標を決定し、玄関に掲示する。

○「一人ひとりの想いを輝かせよう！いじめNO宣言」プロジェクト

・代表委員でいじめについての劇を作り、各クラスで劇を見た後、授業で「自分ならどういう行動をとるか」「クラスで同じようなことは起こっていないか」など、いじめについて話し合った。

・授業後に、「いじめをしないために、いじめが起らないために自分はどうしていくか、何ができるか」を用紙に書き、それを宣言の旗になるよう貼り付けて「しあわせの旗」として玄関に掲示した。「一人ひとりの想いを輝か



一人一人の宣言を玄関に掲示

せよう」という名前は、羽衣小学校がいじめのない、一人ひとりの気持ちが強く優しくキラキラするような学校になってほしいという願いを込め代表委員会で話し合っ

## 高陽小学校

「いじめのない学校」

### 【取組内容】

○いじめの4層構造  
・いじめの4層構造を被害者、加害者、観衆、傍観者の役に分かれ、劇にして説明した。

この劇を通じて、見て見ぬふりをする人もいじめなのだ

・友だちのうさぎのことを想像し、紙芝居「ふゆのおともだち」を行い、相手を想う気持



ふわふわ言葉の掲示

ちを持つことでいじめがなくなることを説明した。

### ○ふわふわ言葉

・相手が楽になる、勇気が出る、励ますことができる「ふわふわ言葉」を全学年から募集し、職員室前に掲示した。

### ○ピンクリボン

・いじめ反対の意思表示をし、配布した児童にピンクリボン

## 取石小学校

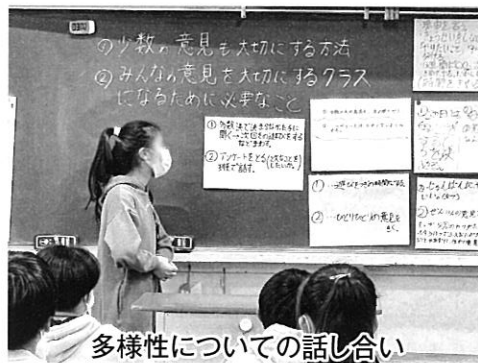
「レインボー〜みんなちがってみんないい〜」

### 【取組内容】

○レインボー運動  
・取石小学校の児童が個性を認め合い、自分を好きになり、皆が安心できる学校をめざして「個性を大切に自分らしくいられる学校をつくる」

「いじめのない学校をつくる」という2つを目標に掲げ、児童会中心で取り組んでいる。

・児童会が「多数決」をテーマにした動画を作成して、それをもとに各学級で多様性について話し合った。「共感したり認めたりすることで皆が



多様性についての話し合い

意見を言い合えるクラスが「少ない意見にも理由や素敵な発想があるから聞く」などの意見が出た。話し合いの後に「レインボー宣言」として様々な色の画用紙に自分の目標や行動を書いてもらい、貼り合わせて「みんなの虹」を作り、校舎に掲示した。

○はなまる掲示物

・全校児童に合言葉を確認し、児童会で「どのような学校にしたいか」を書いた大きな掲示物を作成した。

### ○はなまるスローガン

・各学期で全児童が合言葉をテーマにスローガンを考え、クラスの代表作品を学年の掲示板上に掲示する。

### ○おなやみボックス

・事務室前に悩みを書いた紙を入れる箱を設置して、役員とその他委員会等で児童の悩みの解決に努める。



おなやみボックス

### ○いじめ3ない宣言

・いじめのない学校にするため、「いじめ3ない宣言」(いじめは絶対にしない・させない・ゆるさない)を掲げ、署名運動を行った。集まった署名は、大きな本の形にして掲示した。

## 東羽衣小学校

「はなまる東小の実現に向けて」

### 【取組内容】

○はなまる東小  
・「はなしをきこう」「なかよく楽しくしよう」「毎日あいさつしよう」「ルールを守ろう」の4つのキーワードの頭文字で、これを合言葉に様々な活動に取り組んでいる。

## 清高小学校

「いじめをなくすために」

### 【取組内容】

○あいつつやポスター、動画による啓発活動  
・「いじめをなくすためには

どうすればよいか」というテーマで話し合いを行い、ポスターや動画などで「いじめは絶対にしてはいけない」ということを伝えることにした。グループに分かれ、ポスターを作ったり、動画の台本を考えたりと皆で協力しながら、それぞれの作品を完成させた。



ポスターの掲示

○クイズによる啓発活動  
・ いじめ防止○×クイズとして、全児童に「これって、いじめなの？ いじめじゃないの？」とクイズを出した。クイズには、皆が自分の行動を振り返り、今の行動がいじめにつながりそうならすぐにやめてほしいという願いをこめた。  
・ 冗談のつもりと誤っていても、いじめを受けている人は耐えられないくらい辛い思いをしている。いじめをしない、させないために協力して明るく元気な清高小学校を作っていきたい。

### 加茂小学校

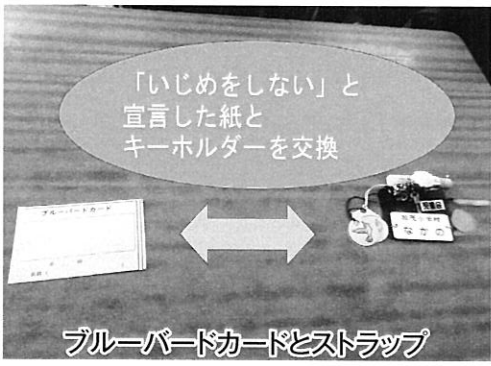
#### 「あいする加茂小運動」

##### 【取組内容】

○あいする加茂小  
・ 「あいさつ」「いじめなく」「すこくきれい」「るん登校」の4つのキーワードの頭文字で、加茂小学校を、あいさつができ、いじめがなく、すこくきれいな学校にできれば、皆がるん登校できるといふ考えのもと、児童会活動を行っている。

○あいさつ運動  
・ 朝に門の前に立ったり、色々な学年の教室を回ったりして挨拶をしている。自分が大きき声で挨拶したり、笑顔で挨拶したりすれば、相手も同じように返してくれるようになることに気づいた。

○ブルーボード運動  
・ いじめをなくすブルーボード運動の動画を作成し、皆に見てもらって、いじめをしないと宣言した紙とブルーボードのストラップを交換し、ストラップを名札につけてもらった。



○学校をきれいにする活動  
・ 掃除の時間が終わった後、ちゃんと道具が片付けられて

いるか、ロッカーにもものがきちんとしまわれているかなどをチェックしている。片づけや掃除が行き届いていると、とても気持ちよく過ごすことができる。

### 高石中学校

#### 「bullying prevention いじめ防止に向けて」

##### 【取組内容】

○いじめアンケートの実施  
・ いじめとは、自分と相手の違う部分を明らかにし、傷つけること、大人数(2人以上)で少数人数(2人以下)に言動や暴力で精神的にダメージを与えることと生徒会で定義づけ、いじめの現状を知るために、いじめアンケートを実施した。

・ アンケートの結果は11月の文化活動発表会で動画を作成し周知した。



文化活動発表会でのアンケート結果報告

○いじめ解決のスローガン  
・ アンケート結果から「価値観の違いを知って、受け入れて、認め合おう」というスローガンを決め、全校生徒に自分が言われて嬉しい言葉を書いてもらい、それを木にし

て掲示する「言われてうれしい言葉の木」を実施した。「ありがとう」や「スゴイ！」という言葉が見られ、掲示後の生徒たちの反応も予想以上に大きく「今度友達に言ってみよう！」と言っている人もいた。

##### 【今後の取組み】

・ 相手のことを知るきっかけづくりや、より相手との関係を深めることができるよう「好きな音楽は?」「好きな食べ物?」などの質問を書いたオリジナルすごろくを今後実施する。

・ 私たちにはそれぞれ個性がある。個々の違いを面白がって笑うことは相手を傷つけ悲しませることにつながる。一つ一つの言葉に責任を持つことと、言葉は時には暴力になることを知ることが大切であると伝えていきたい。

### 高南中学校

#### 「言葉のちから」

##### 【取組内容】

○生徒学活の実施  
・ 見方や物事の受け止め方を変え、自分や友達の良さに気付く他者理解につながる取り組みを行った。

○アンケートの実施  
・ 「いつも使っている思いやりの言葉と相手を傷つけている言葉」についてアンケートを実施し、結果をまとめ、生徒会新聞に掲載して全校生徒に周知した。  
・ アンケートでは、友達に言われて「嬉しかったことがあるか」という質問で、8割の人が「ある」と答えているの

に対して「嫌だったことはあるか」という質問では、4割の人が「ある」と答えた。嫌だったことより、嬉しかったことが上回っているが、2割もの生徒が今までに嬉しかった経験がないということが課題となった。

○ずっと続けていける高南中学校の目標SUSTAINABLE KONAN GOALS (SKGs)  
・ SDGsに基づき、未来に向けて皆が快適に過ごしていける学校に向けての課題として「他者を理解する」「物を大切に」「思いやりの心を」「けじめのある行動を」「ジェンダー平等を実現しよう」「居心地の良い学校づくり」の6つの項目を決定した。

・ 取り組みに協力してくれる生徒には宣言用紙に自分の思いを記入してもらい、手作りのSKGsバッチを渡した。



SKGsバッチ

### 取石中学校

#### 「安心できるより良い学校をめざして」

##### 【取組内容】

○リーダー研修  
・ 春に全校生徒に行きたいじめアンケートの結果をもとに、夏休みに生徒会本部役員や各クラスの学級代表、各委員会委員長と先生たちが集まり、

リーダー研修として、取石中学校の現状や抱えている課題を出し合い、どんなことが必要かを話し合った。また、研修での内容をまとめたものを秋の生徒集会で発表し、その後は各クラスに分かれて取り組みを行った。

○いじめ撲滅キャンペーン  
「We are the SKY (支え・考え・よりそう)」  
・ 文化活動発表会で「We are the SKY」をテーマに「We are the SKY」を呼びかけた。SKYには「S:支え」「K:考え」「Y:よりそう」が込められている。このSKYを意識する生徒が増えてくることで、皆がお互いのことを思い合えるようになり、そこからお互いを認め合うことができるようになり、生徒全員が楽しく学校生活を送ることが

できる。



いじめ撲滅キャンペーン

付け、校舎の正面玄関に掲示し、学校内はもちろん来校される方の目にも留まるようにして学校外にもいじめの防止を訴えた。  
・ カードを提出して参加してくれた生徒には、生徒会の取り組みに賛成したという証の「ブルーリボン」を配布した。ブルーリボンは生徒の名札につけることができ、いじめをしないという思いを視覚的に残るようにした。

#### 参加児童生徒の感想

・ 他の学校の様々な活動を知れて良かった。他の学校の取り組みを参考に自分たちの学校でも、いじめがない学校にできればと思った。  
・ 各学校の取り組みを知ると同時に「いじめは絶対にあってはならない」という意思も伝わってきた。  
・ 自分たちの取り組みを学校内で説明したりすることはあっても、他の学校の人たちに分かりやすく説明するのは初めてだった。うまく説明できて良かった。



わたしたちの生活を話し合う会の様子

### 青少年健全育成推進会の主な取り組み

高石市青少年健全育成推進会では、次代を担う青少年たちが健やかに成長するよう、いろいろな取り組みを行っています。

#### 令和4年度高石市青少年健全育成推進会事業報告

##### 令和4年

###### ★街頭指導

市内各小学校別に毎月1～2回実施（通年実施）

青少年健全育成の啓発推進及び愛の一声運動等を行うとともに、青少年のたまり場となりやすい場所を巡回し、非行防止と健全育成を図る。

##### 7月

###### ★役員会

令和3年度事業報告

令和4年度事業計画

###### ★青少年健全育成市民大会・社会を明るくする運動

場所：たかいし市民文化会館大ホール

参加者：151名

内閣総理大臣メッセージ朗読

高石市保護司会々長 中谷 正彦

講演：テーマ「どすこい人生 四方山話」

講師：マグチグループ株式会社

チェアマン 前田 克巳氏

##### 11月

###### ★青少年健全育成強調月間

ポスター掲示等による広報活動

##### 12月

###### ★わたしたちの生活を話し合う会

テーマ：「いじめのない学校をつくるために」

参加者：市内小中学校の児童生徒代表

##### 令和5年

##### 2月

###### ★学校問題研修会

テーマ：「子どもの気持ちによりそう大人のまなざし～感情のコントロールと表現の工夫～」

講師：大阪教育大学教育学部教授 戸田 有一氏

### 高石市青少年健全育成推進会構成団体名

(順不同)

高石市	高石市内ガールスカウト
高石市議会	高石市PTA連絡協議会
高石市教育委員会	高石市連合自治会
高石警察署	高石市社会福祉協議会
岸和田子ども家庭センター	高石市婦人団体協議会
堺少年サポートセンター	高石市母子寡婦福祉会
高石市内幼稚園	高石市少年補導員
高石市内認定こども園	高石市こども会育成協議会
高石市内小学校	高石市スポーツ少年団
高石市内中学校	高石市文化協会
高石市内高等学校	高石市体育協会
高石市内専門学校	高石商工会議所
高石市防犯協会	高石ロータリークラブ
高石市保護司会	高師浜ロータリークラブ
高石市更生保護女性会	羽衣ロータリークラブ
高石市人権協会	堺・高石青年会議所
高石市人権擁護委員	高石交通安全協会
高石市民生委員児童委員協議会	高石中学校区地域教育協議会
高石市社会教育委員	高南中学校区地域教育協議会
高石市青少年指導員協議会	取石中学校区地域教育協議会
高石市内ボーイスカウト	

## 学校問題研修会 (講演)

日時 令和5年2月8日(水)

場所 高石市役所別館3階 多目的ホール

テーマ 子どもの気持ちによりそう大人のまなざし

～感情のコントロールと表現の工夫～

講師 大阪教育大学教育学部教授 戸田 有一氏

#### 令和4年度 高石市立小中学校スマホサミット 「大人のインターネット使用について 思うことがあれば5・7調で」

- ・あそぼうよ 何回言っても 聞かないな (小学4年生 男子)
- ・スマホ持ち 外に出かけて 会話拒否 (小学5年生 女子)
- ・ねえ聞いて だけど視線は スマホの方 (小学6年生 女子)
- ・呼んだのに スマホを見ていて 気づかない (小学6年生 女子)
- ・お母さん スマホ見ないで ぼくを見て (小学6年生 男子)
- ・スマホだけ 腕の赤ちゃん 泣いてるよ (中学1年生 女子)
- ・ご飯中 スマホ見ないで 喋ろうよ (中学1年生 女子)
- ・大人もね 気づかないだけ 依存症 (中学1年生 女子)
- ・夜寝ない スマホを見ずに 夢を見て (中学1年生 男子)
- ・お母さん いつもスマホを 盗み見る (中学1年生 女子)
- ・インスタで 勝手に上げて 面倒くさい (中学2年生 男子)
- ・位置情報 いつでも監視 されている (中学3年生 男子)
- ・「仕事です」 何回聞いた? そのセリフ (小学5年生 男子)
- ・夜遅く ママがよく言う 「ママだから」 (小学6年生 男子)
- ・これが嫌 大人だからと 答える人 (小学6年生 男子)
- ・いつまでも スマホ見てるよ 不公平 (小学6年生 男子)
- ・調べ物 そう言うけれど 遊んでる (中学1年生 女子)
- ・使いすぎ あなたもそうでしょ お母さん (中学1年生 女子)
- ・大人たち グチグチ言うが 守ってない (中学1年生 女子)
- ・じいちゃんの ラインの返事 遅すぎる (小学4年生 女子)
- ・ママたちは スマホを家で よくなくす (中学1年生 女子)
- ・憧れる 既読のままを 気にしない (中学2年生 女子)
- ・パソコンで 会議をするのは あこがれだ (中学1年生 男子)
- ・ゲームはな 俺にとって 勉強や (中学3年生 男子)

大学だけでなく、小中学校、幼稚園、少年院など色々なところで教育に関わりを持っている。また、講演会など大人を対象にしたものだけではなく、幼稚園児を対象とした企画を行ったりしている。

近年は、共働きの増加など社会情勢の変化により保護者が集まって話し合う機会が少なくなったが、子育ての悩み解消やいじめの予防には、保護者同士が関わり合いを持つことも大切なので、私が提供する話題について話し合う「話そう会」というものを行っている。

過去に行った、中学校のPTAの代表と生徒会の子どもたちとの「話そう会」では、親子であれば喧嘩になりそうな話題(例えば勉強や家庭でのお手伝いについてなど)も、冷静に互いの気持ち、考え方を話し合うことができた。

これを発展させて、5・7調で親から子へ、子から親へお互いに言いたいことを書いてもらうことを始めた。たいてい、大人より子どもが書くものの方が面白い。

令和4年度には高石市立小中学校スマホサミットにおいて、大人のインターネット使用について思うことをテーマに小学4年生から中学3年生までの子どもたちに5・7調で書いてもらった。

子どもたちの書いたものは左のとおりで、スマホより自分を見てほしい、プライバシーを守ってほしいといった要望や不公平な扱いへの不満、大人の行動についてうまく表現されている。

5・7調にするのがポイントで、書く側は短い文の中に工夫して想いを込めるようになり、読む側は子どもの作品として怒らずに冷静に読むことができる。

ぜひ高石の子どもたちの素直な気持ちが表れた作品を読んでいただき、子どもとの過ごし方、関わり方を見つめなおしてみたい。